2) 桜井欽一, 小出五郎, 松山外治郎: 我等の礦物 9 2 (1940)

3) 日本鉱物誌 (2版) 242 第 2 図

5. 三重縣水澤産煙水晶

Smoky Quartz from Suizawa, Mie Prefecture.

桜井 欽 一* (Kin-ichi Sakurai)

三重県水沢のペグマタイト晶洞よりトパズ, カリ長石, 曹長石, チンワルド雲母等に伴つて産する煙水晶は一般に煙灰色半透明で光沢はあまり著しくない。太い六角柱状の結晶で多くは晶洞内壁を被う曹長石の連晶群中より晶洞の中心に向つて突出しており, 大なるものでは径 5.5cm, 長さ 8cm に及んでいる。接触測角器により次の諸面が認められた。

$$\begin{array}{lll} m \ (10\bar{1}0), & r \ (10\bar{1}1), & z \ (01\bar{1}1), \\ M \ (30\bar{3}1), & \zeta \ (60\bar{6}1), & M_1 \ (03\bar{3}1), \\ \zeta_1 \ (06\bar{6}1), & s \ (11\bar{2}1), & x \ (51\bar{6}1), \end{array}$$

m, r, z は常に大きく発達しているが他の面は小さく, かつ現出も著しくない。単晶およびドイネー式双晶が見出される。本地の煙水晶中にはしばしばトパズを抱えているものがあるが, それは包有關係でなく, トパズは必ず結晶の一半を外部に現わしている。しばしば両端に晶面を有することがあり, また時には一つの大きな結晶の先端が多くの小結晶の平行連晶的簇立に終つてことがある。

* 横浜大学学芸部